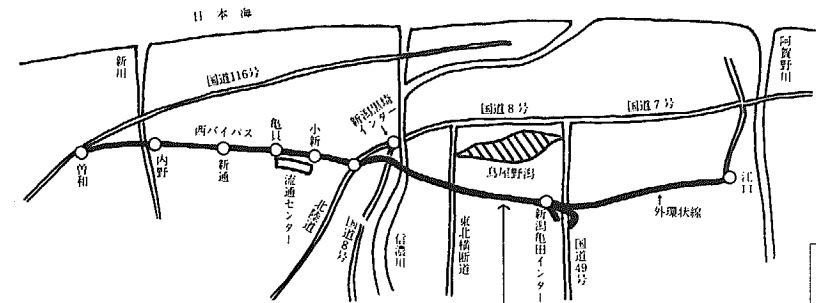
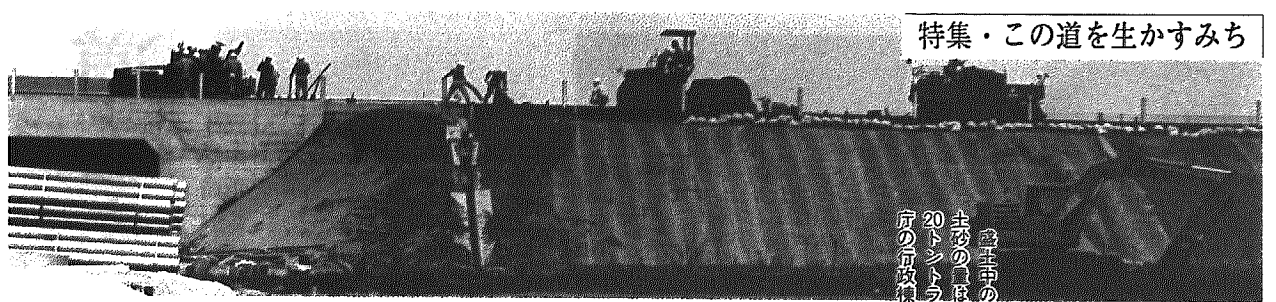


新しい道路を町づくりの基礎に

盛岡市の新潟西バイパス。主線の全長約170万m、20トントラック28万台分、県の行政棟13個分という。



東京学芸大学三年の高群輝夫さんは研究地に全国の中から黒埼町を選びました(表紙の写真)。その理由を「北陸や関越自動車道をはじめ8号、新潟外環状線などが集中し、日本海側最大の交通網の拠点になりつつあるから」と言います。実際にそれらの道路は黒埼町に多大な影響を及ぼしつつあります。例えばインター周辺には流通業がいくつも進出しています。黒埼町にとって道路網を生かした町づくりが求められています。新しい道路の現況と町の対応を紹介します。※10、11ページに地図を付けましたのでご覧ください。

小針街路(寺地)が12月に開通 黒埼西川線が12月に開通

最初に今年になって通行できるようになった道路を紹介しよう。黒埼町側六百六十メートルのうち、新潟市道(境界)から町道寺地立込線まで二百六十五メートルが暫定二車線で十二月二十日に開通します。残りの新潟黒埼インター線までは六十五年の

① 農免農道(鳥原木場) 巻農地事務所(県)が昭和五十七年度から着手した農免農道が完成しました。延長は一千九百四十メートル、幅員六メートル、事業費は二億五千四百八十万円です。竣工式は十一月十七日ありました。農免道路は農作物の運搬を目的に造られる道路です。一般車も走れますが、農耕車が優先します。

新潟西バイパス(立込)は64年春

次に現在工事中の道路です。① 新潟西バイパス(立込)と国道北陸自動車道(立込)と国道116号(新潟市曾和)を結ぶ。延長七・二キロ。第一期工事として北陸道と連結するジャンクションから小針インターまで約八百メートルを工事中。この区間は昭和六十四年春に開通する予定です。

② 小針街路(寺地) 新潟市が昭和四十七年から建設している都市計画道路です。延長は三・三キロ、幅員二十一メートル。新潟市側は既に開通する予定です。

春に完成する見込みです。③ 黒埼西川線(木場)西川町貝柄)巻土木事務所(県)が昭和四十七年に始めた県道の改良事業です。最後に残った西川町貝柄の南側四百五十メートル、幅員十一・五メートルの区間が十二月七日に供用開始になります。なお、黒埼西川線は新潟黒埼線と一部併用。

黒埼西川線(木場)は64年春

② 新潟黒埼線(木場) 主要地方道新潟黒埼線(県道)の黒鳥1から木場大南橋まで(約一千五百メートル)の建設は昭和五十一年から始まっていた。残る区間は木場下組地内です。そのうち広域農道5号まで二百六十メートルは来春完成します。最後に残る二百七十メートルは「地権者から協力を願って用地買収等にかかりたい」と事業主体の新潟土木事務所は話しています。

年から着手。北陸自動車道の料金所の下手から農協鳥原支所上手の町道鳥原寺地線まで約八百メートル幅員十二メートルの区間は用地買収済み。工事は本年度と来年度、十二月に着工されます。今後は「国道8号までの区間の地元説明に入りたい」と新潟土木事務所では話しています。

外環状、来年から用買

最後に新潟外環状線です。外環状線は北陸自動車道の延長として新潟黒埼インターの

長として新潟黒埼インターの手前から新潟黒埼インター(仮称)まで六・七キロの区間を日本道路公団が建設します。幅員は二十一・五メートル。今年五月に路線が発表され、来年度から用地買収に入り、早ければ六十四年度に工事を始め七十年ごろ供用開始を目指す計画です。

生かすために町道の建設や整備が急務 町の対応

次々と道路が出来てくる黒埼町。特に町北部には西バイパス、小針街路そして新潟外環状線と大きな道路が目白押しです。これに対応した町道の整備が急がれます。町では立込14号線と鳥原寺地線を建設しています。

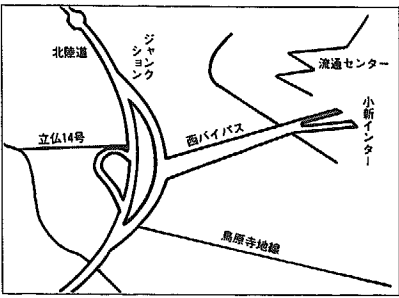
① 立込14号線 この道路は立込から流通センターへ向かう延長四百二十メートル、幅員八メートルの町道でジャンクションの下を通り、新潟市道につながります。六十年

② 鳥原寺地線 町北部の基幹道路です。延長一千九百九十五メートル、幅員十二メートル。五十九年度から着手し、本年度予算は九千五百万円。橋、ボックスの建設、用地買収、移転補償にあたっていま

④ 町道黒鳥北場線(延長二千八百メートル、幅員六メートル) 当初七年計画、総事業費五億八千万円を見積もっていましたが、それ以上かかる見込みです。このほかに③ 山田立込2号線という立込14号から山田小わきを通って国道8号につながる道路を計画しており、現在地元で説明しています。また、流通センターわきを通る

近いうちに、黒埼町に最も大きな影響を与えるのは新潟西バイパスでしょう。小針と亀貝の二つのインターが町の至

効果を期待 黒埼町は県内はもとより日本海側の交通網の拠点になりつつあります。この道路網を生かした町づくりを進めていきたいと町は考えています。



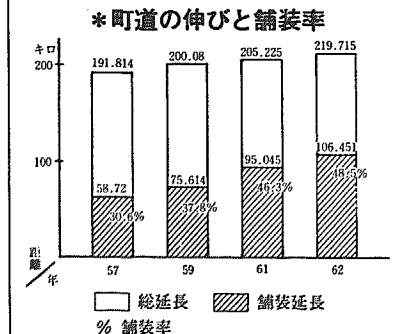
工事中の新潟西バイパス

北陸自動車道から新潟流通センターへ伸びる新潟西バイパス。ジャンクションと小針インターまでの事業費は約90億円。64年春の開通を目指しています。それにあわせて町道立込14号、鳥原寺地線を建設。



(写真・建設省新潟国道工事事務所)

Table with 3 columns: Year, Road New Construction/Improvement Cost, and Civil Engineering Cost. Data for years 57 to 62.



町道は418路線あります。私道を町道に認定したり、長さなどを変更したりする場合は議会の議決が必要です。町道に認定されると町が維持管理します。交通問題 黒埼町は地味町村から流入する車が多く、国道8号やその沿線の県道、町道などが混雑しています。そのため交通事故も多く発生し、騒音などの解決を迫られている問題があります。私道整備 公道だけでなく私道の整備も欠かせません。町では私道整備に4割補助します。条件は建設課へ。

建設が進む北陸自動車道。西頸城郡青海町。新潟黒埼。米原(滋賀県)414キロの全線開通は来年夏の予定



(写真・建設省)